
反射神経

聖魔光闇

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

反射神経

【Nコード】

N0422R

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

TVゲームをしていたら、姉が話し掛けてきた。

(前書き)

よくある話

「何してるの？」

「ゲーム」

「何の？」

「レース」

「で、何してるの？」

俺はさっきゲームって言ったのにも関わらず、同じ事を聞いてくる姉がバカに思えた。

「だから、ゲーム」

「見たらわかる」

『じゃあ何で聞くんだよ！！』

俺はうんざりした顔になった。

「アネキは何が言いたいの！？」

「いや、何してるのかなあ？　って思ってた」

「バカか？　アネキ。さっきゲームって言ったろ！！」

「バカとは何よ！！ バカとは！！」

「だってバカじゃねえか！！ 同じ事ばかり聞きやがって！」

「だってアンタ、さっきから体が左右に動いて揺れてるじゃん」

「え？」

俺は姉の顔を見た。

「アンタ、ゲームでカーブを曲がる度に体動してるよ」

「……」

「だから、何してるのかなあって思ってたさ」

と言うと部屋から出て行った。

『無意識の反射神経って……。なんか、俺がバカみたいだな……』

(後書き)

よくある？ 話？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0422r/>

反射神経

2011年10月8日01時24分発行